

# 平成21年横浜港の港勢

## 入港船舶

		単位	21 年	前年比	構成比	20 年	前年比	構成比
総 数	隻 数	隻	37,104	85.9	100.0	43,202	100.1	100.0
	総トン数	総トン	257,843,397	92.4	100.0	279,137,876	104.5	100.0
外 航 船	隻 数	隻	10,316	91.2	27.8	11,308	100.4	26.2
	総トン数	総トン	219,014,536	92.4	84.9	237,155,165	105.2	85.0
うち フルコンテナ船	隻 数	隻	5,159	94.3	50.0	5,472	98.2	48.4
	総トン数	総トン	130,142,034	98.5	59.4	132,174,442	102.6	55.7
内 航 船	隻 数	隻	26,788	84.0	72.2	31,894	100.0	73.8
	総トン数	総トン	38,828,861	92.5	15.1	41,982,711	100.6	15.0

## 海上出入貨物

		単位	21 年	前年比	構成比	20 年	前年比	構成比
総 数	貨 物 量	トン	115,528,762	81.5	100.0	141,764,431	100.01	100.0
	うちコンテナ貨物量	トン	44,233,853	84.3	38.3	52,461,374	98.9	37.0
	コンテナ個数	TEU	2,797,994	80.4	100.0	3,481,492	101.6	100.0
外 貿	計	トン	75,039,900	81.9	65.0	91,665,353	101.0	64.7
	輸 出	トン	34,549,141	73.7	29.9	46,897,862	101.3	33.1
	輸 入	トン	40,490,759	90.4	35.0	44,767,491	100.8	31.6
	うち 計	トン	41,812,298	83.6	55.7	50,023,906	98.2	54.6
	コンテナ貨物 輸 出	トン	21,045,701	81.4	60.9	25,869,582	100.4	55.2
	輸 入	トン	20,766,597	86.0	51.3	24,154,324	96.1	54.0
	計	TEU	2,555,237	79.8	91.3	3,203,871	100.7	92.0
	コンテナ個数 輸 出	TEU	1,379,287	81.6	49.3	1,689,420	102.2	48.5
	輸 入	TEU	1,175,950	77.6	42.0	1,514,451	99.1	43.5
	計	トン	40,488,862	80.8	35.0	50,099,078	98.2	35.3
内 貿	移 出	トン	16,723,565	78.9	14.5	21,191,682	100.6	14.9
	移 入	トン	23,765,297	82.2	20.6	28,907,396	96.5	20.4
	うち 計	トン	2,421,555	99.3	6.0	2,437,468	113.6	4.9
	コンテナ貨物 移 出	トン	1,264,444	89.2	7.6	1,418,085	111.2	6.7
	移 入	トン	1,157,111	113.5	4.9	1,019,383	117.2	3.5
	計	TEU	242,757	87.4	8.7	277,621	112.8	8.0
	コンテナ個数 移 出	TEU	104,841	83.3	3.7	125,865	103.1	3.6
	移 入	TEU	137,916	90.9	4.9	151,756	122.5	4.4

(注) コンテナ個数は、実入・空の合計。

「うちコンテナ貨物」の構成比は、外貿又は内貿の貨物量に占めるコンテナ貨物の割合。

## 貿易額

		単位	21 年	前年比	構成比	20 年	前年比	構成比
合 計		百万円	8,251,847	63.5	100.0	12,994,469	101.7	100.0
輸 出		百万円	5,507,985	63.3	66.7	8,695,587	100.0	66.9
輸 入		百万円	2,743,862	63.8	33.3	4,298,882	105.3	33.1

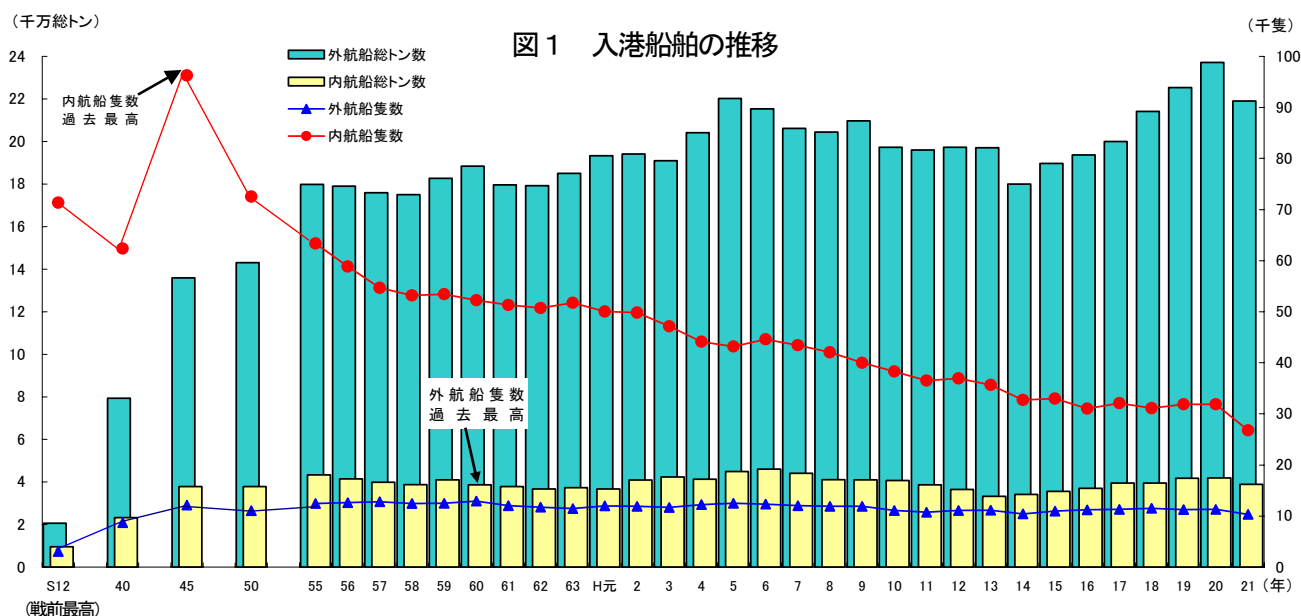
(注) 横浜税関資料による。(確定値)

平成 21 年の横浜港の取扱貨物は、平成 20 年9月のリーマンショックに端を発した世界的不況の影響により、特に輸出において中核をなす完成自動車関連が前年比4割減と大きな打撃を受けるなど、取扱量全体において前年比で戦後最大の下げ幅(18.5%減)となりました。

また、入港船舶の隻数、総トン数も対前年に比べ減少し、昨年過去最高の 348 万 TEU を記録したコンテナ取扱個数も同じく 19.6%減の 280 万 TEU にとどまりました。

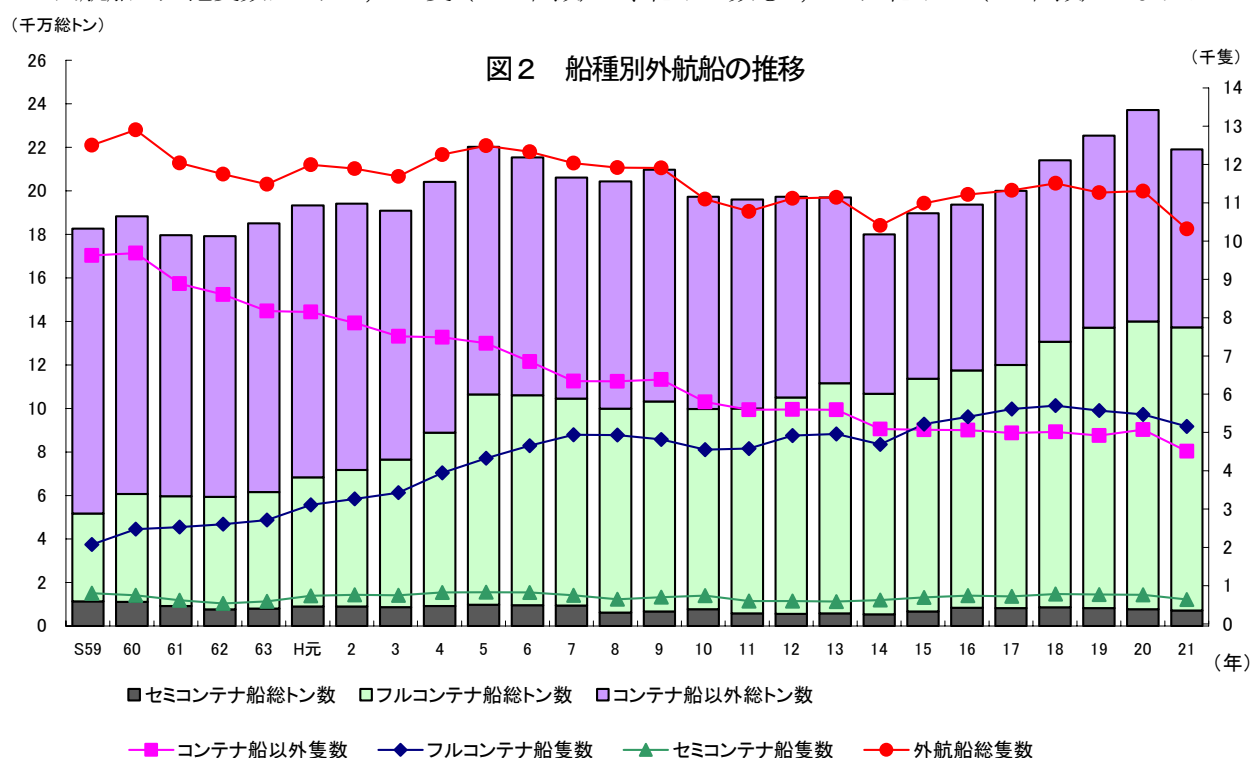
## 1 入港船舶 【P 9】

入港隻数は外航・内航合計で 3 万 7,104 隻 (前年比 14.1%減、以下増減%は前年比) となりました。総トン数は 2 億 5,784 万総トン (7.6%減) となり、7 年ぶりに減少に転じました。



外航船の入港隻数は 1 万 316 隻 (8.8%減)、総トン数は 2 億 1,901 万総トン (7.6%減) となりました。このうちフルコンテナ船は 5,159 隻 (5.7%減)、総トン数は 1 億 3,014 万総トン (1.5%減) となっています。

内航船の入港隻数は 2 万 6,788 隻 (16.0%減) で、総トン数も 3,883 万総トン (7.5%減) となりました。

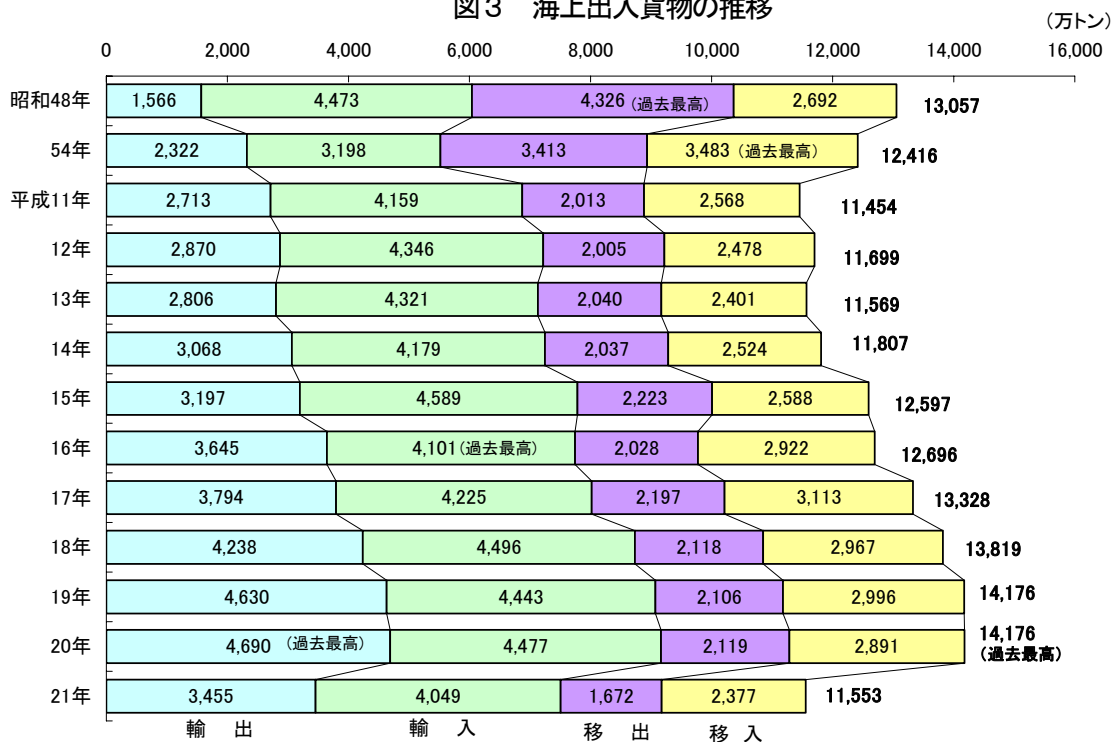


## 2 海上出入貨物

### (1) 総貨物量 … 8年ぶりに減少、対前年比で戦後最大の下げ幅を記録 【P14、15】

外貿貨物量は7,504万トン(18.1%減)、内貿貨物量は4,049万トン(19.2%減)、総貨物量は1億1,553万トン(18.5%減)となり、8年ぶりに減少に転じ、これまで戦後(昭和24年以降)最大の落ち込みであった昭和61年(16.5%減)を上回る戦後最大の下げ幅となりました。

図3 海上出入貨物の推移



### (2) 輸出貨物 … 前年比26.3%減、8年ぶりに減少 【P14～16】

輸出貨物量第1位の「完成自動車」(944万トン、42.6%減、構成比27.3%)、第2位の「自動車部品」(489万トン、23.6%減、構成比14.2%)、第3位の「産業機械」(319万トン、40.7%減、構成比9.2%)などが軒並み大幅にダウンし、輸出貨物量合計では3,455万トン(26.3%減)となり、8年ぶりに減少に転じました。

国別にみると、第1位の中国(891万トン、8.7%減、構成比25.8%)が、輸出貨物量合計の4分の1を占めています。

図4 主要品種別輸出貨物

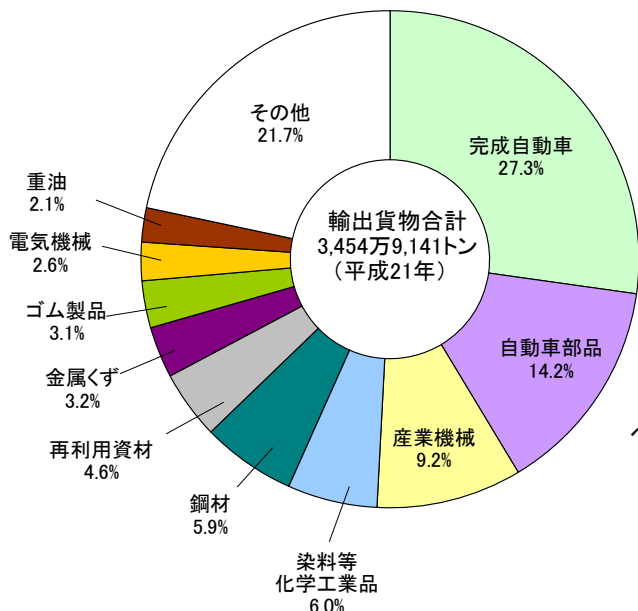
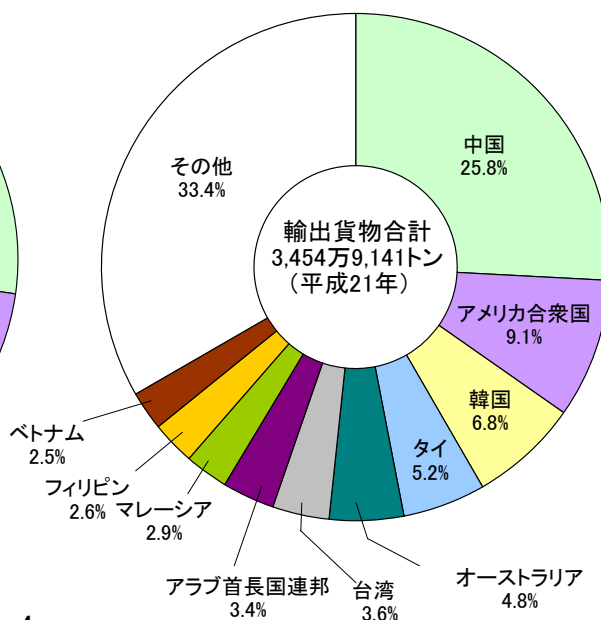


図5 主要国別輸出貨物



(3) 輸入貨物 … 前年比9.6%減、上位品種では下げ幅は小さく 【P14～16】

輸入貨物量を品種別にみると、第1位が「原油」で685万トン（17.9%増、構成比16.9%）、第2位が「LNG（液化天然ガス）」で638万トン（8.5%減、構成比15.7%）、第3位が「衣服・身廻品・はきもの」で169万トン（7.6%増、構成比4.2%）、輸入貨物量合計では4,049万トン（9.6%減）となっており、貨物全体が減少するなかで、上位10品種では2,308万トン（2.4%減、構成比57.0%）と小さな下げ幅でとどまりました。

国別にみると、第1位が中国で759万トン（11.1%減、構成比18.8%）、第2位がサウジアラビアで527万トン（21.2%増、構成比13.0%）、第3位がアメリカ合衆国で498万トン（24.8%減、構成比12.3%）となりました。

図6 主要品種別輸入貨物

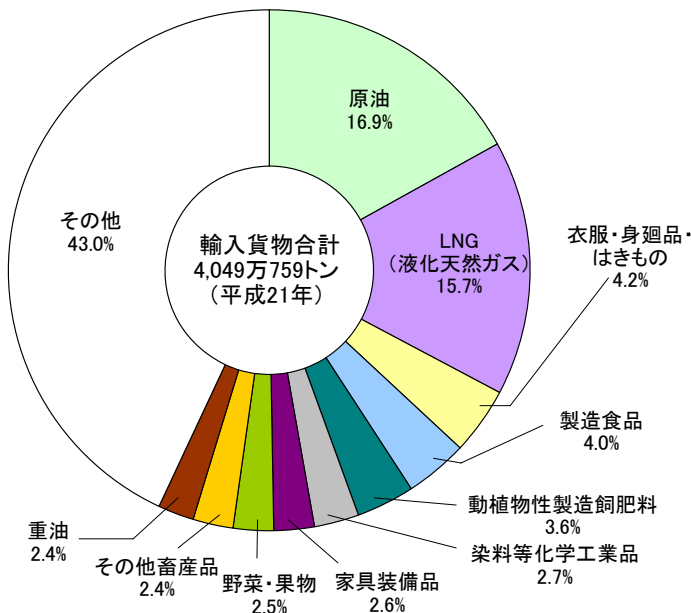
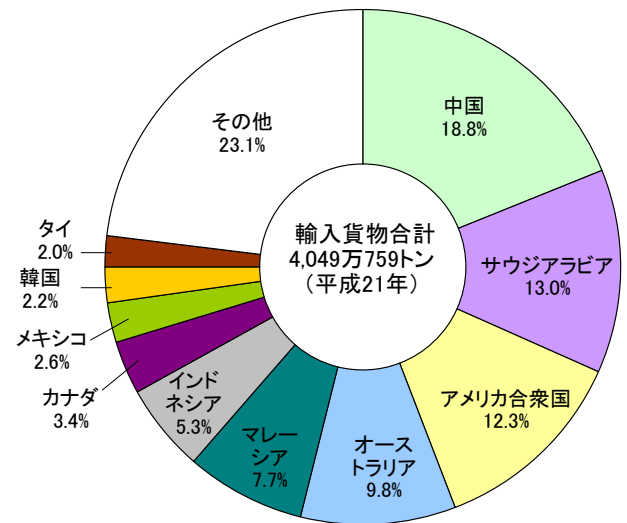


図7 主要国別輸入貨物



(4) 内貿貨物 【P14、15、18】

移出入貨物量を品種別にみると、移出の第1位は「石油製品」で459万トン（9.5%増、構成比27.4%）、第2位は「重油」で354万トン（15.5%減、構成比21.2%）となりました。移入の第1位は「原油」で952万トン（13.0%減、構成比40.1%）、第2位は「砂利・砂」で264万トン（26.1%減、構成比11.1%）となりました。移出・移入合計では4,049万トンとなり、前年比で19.2%減となりました。

図8 主要品種別移出貨物

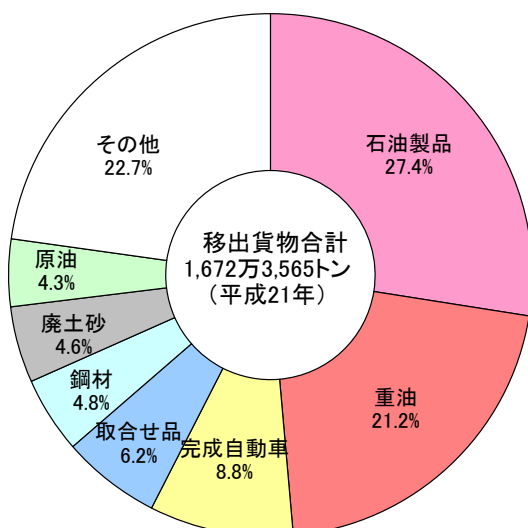


図9 主要港別移出貨物

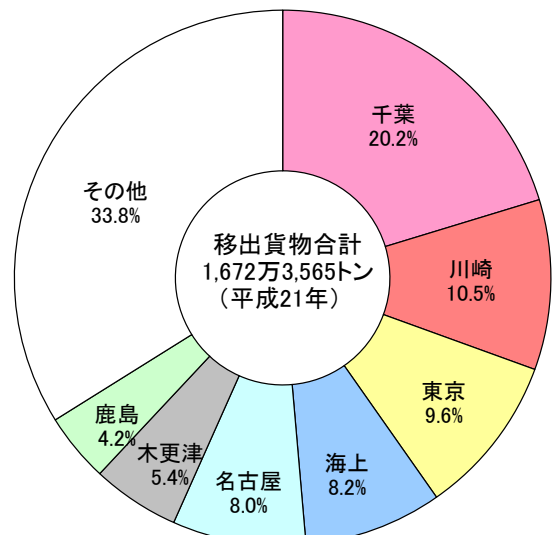


図10 主要品種別移入貨物

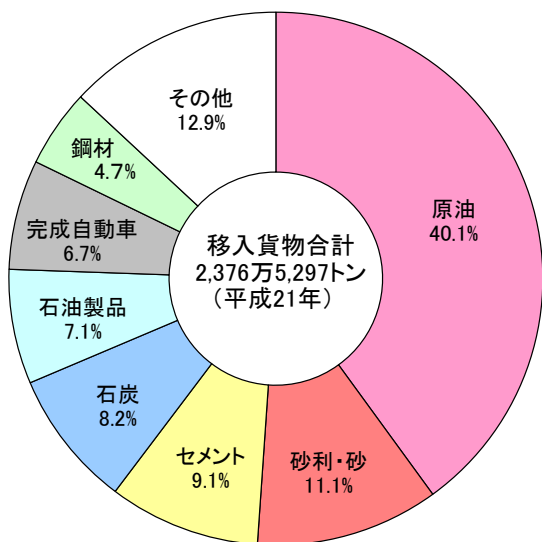
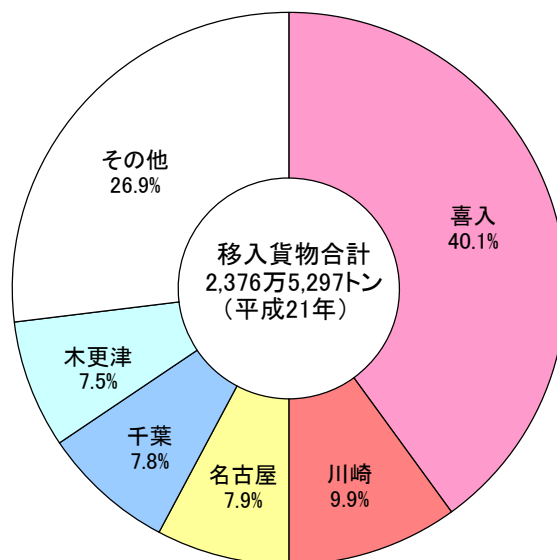


図11 主要港別移入貨物



(5) コンテナ貨物 … 外貿コンテナ貨物 16.4%減 【P14、15、25】

外貿コンテナ貨物量は、輸出が2,105万トン(18.6%減)、輸入が2,077万トン(14.0%減)、輸出入合計では4,181万トン(16.4%減)と、大幅に減少しました。

一方、外貿貨物全体に占めるコンテナ貨物の割合は、55.7%となり、6年連続で5割を超えています。

図12 外貿貨物量の推移

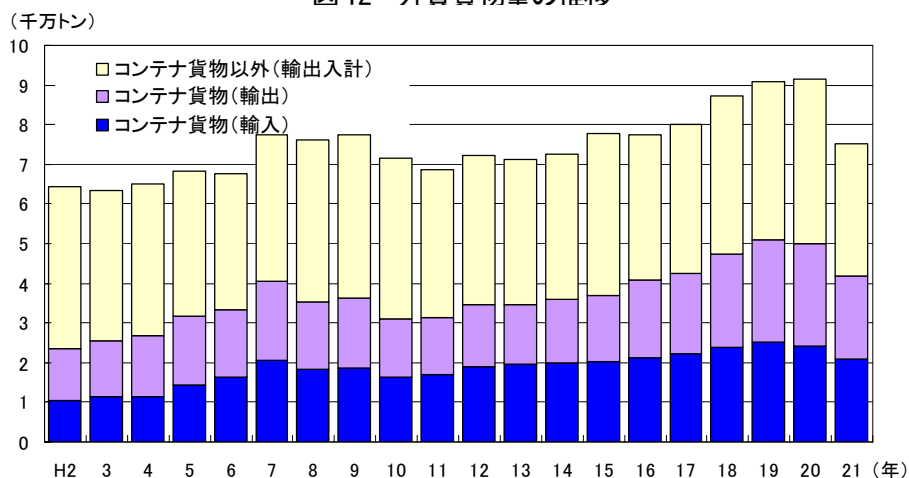
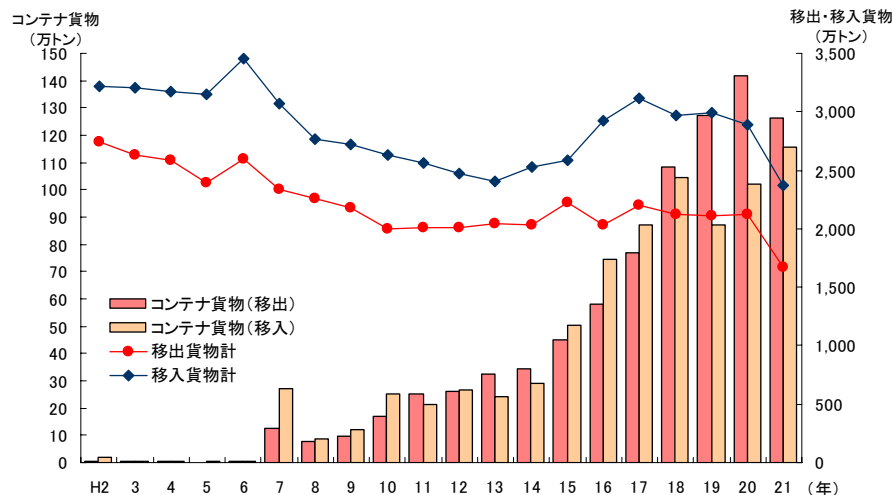


図13 内貿貨物量の推移

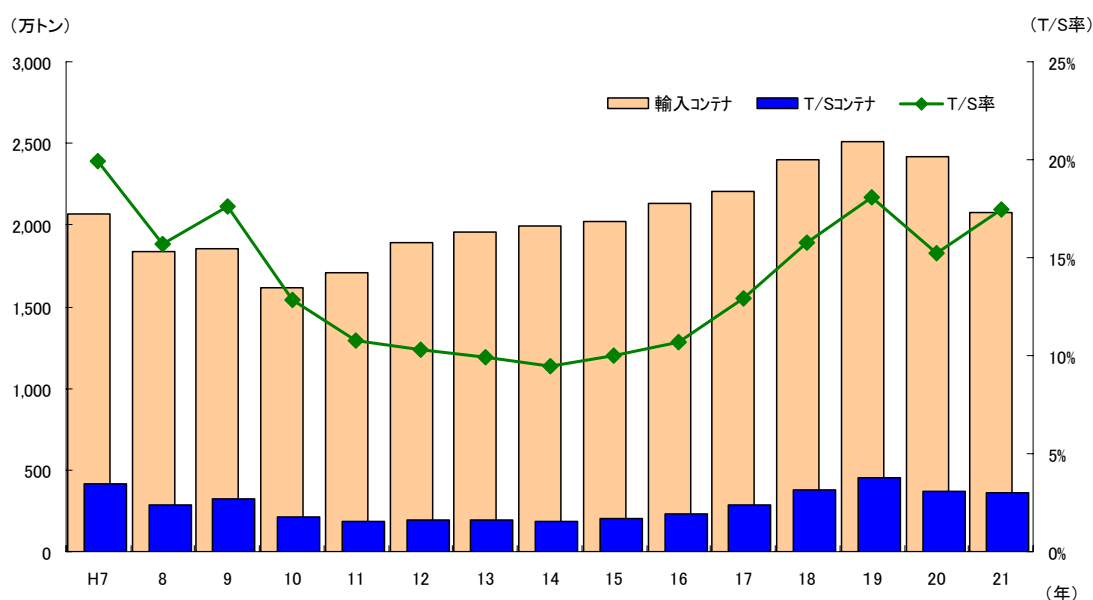


内貿コンテナ貨物量は、移出が126万トン(10.8%減)、移入が116万トン(13.5%増)、移出・移入合計で242万トン(0.7%減)となっています。

## (6) トランシップコンテナ貨物 【P26】

輸入コンテナ貨物のうち、横浜港にて積み替えたトランシップコンテナ貨物量は363万トンで、トランシップ率は17.5%となりました。

図14 トランシップコンテナ貨物の推移



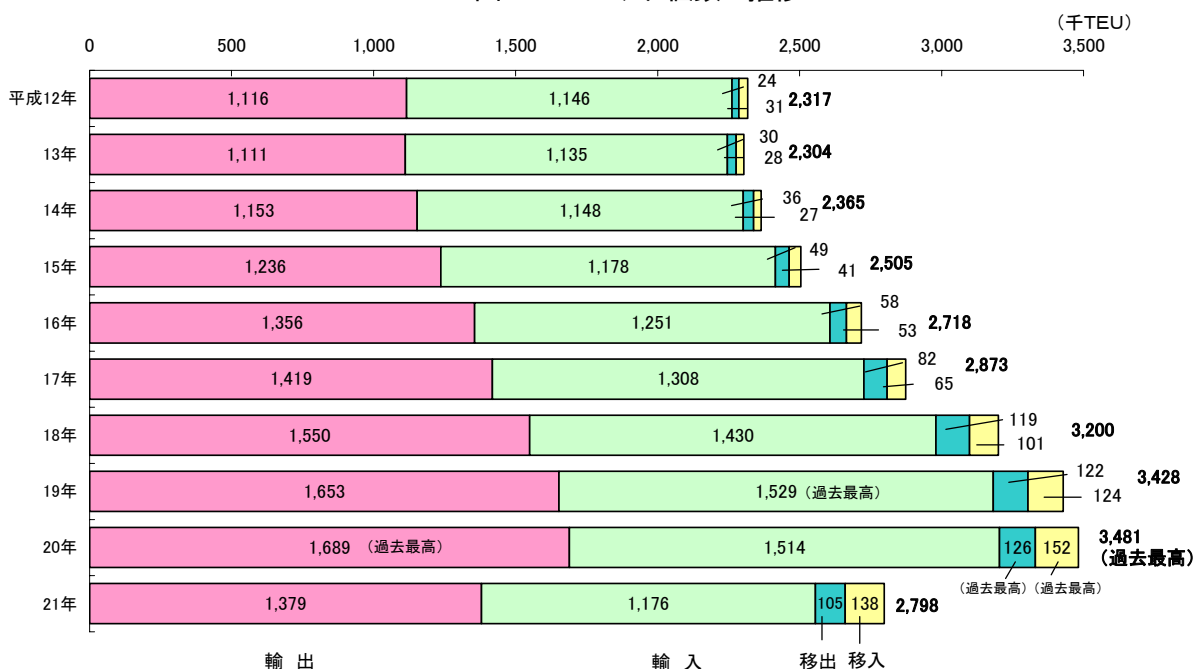
## (7) コンテナ個数 … 外貿・内貿コンテナ個数は8年ぶりに減 【P20、21、48】

外貿コンテナ個数は、輸出が138万TEU(18.4%減)、輸入は118万TEU(22.4%減)、輸出入合計で256万TEU(20.2%減)となり、平成16年程度の水準まで後退しました。

内貿コンテナ個数は、移出が10万TEU(16.7%減)、移入が14万TEU(9.1%減)、移出・移入合計で24万TEU(12.6%減)となりました。

外貿・内貿コンテナ個数は280万TEU(19.6%減)となり、8年ぶり、かつ大幅な減となりました。

図15 コンテナ個数の推移



横浜港のコンテナ取扱個数（280 万 TEU）は、東京港（381 万 TEU）に次いで 10 年連続で第 2 位となっています。横浜港のコンテナ取扱個数を前年と比較すると 19.6. %減となっています。

図 16 主要港別コンテナ個数

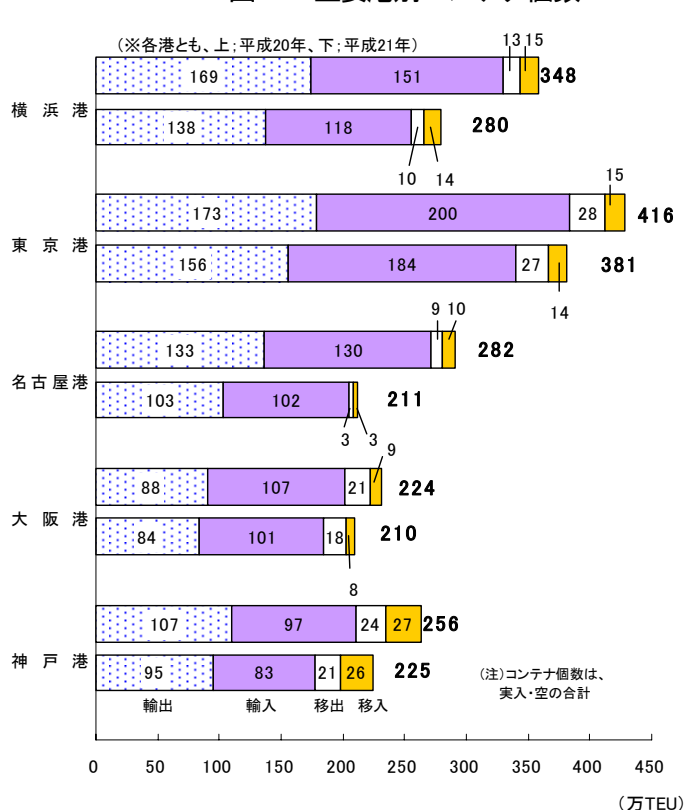
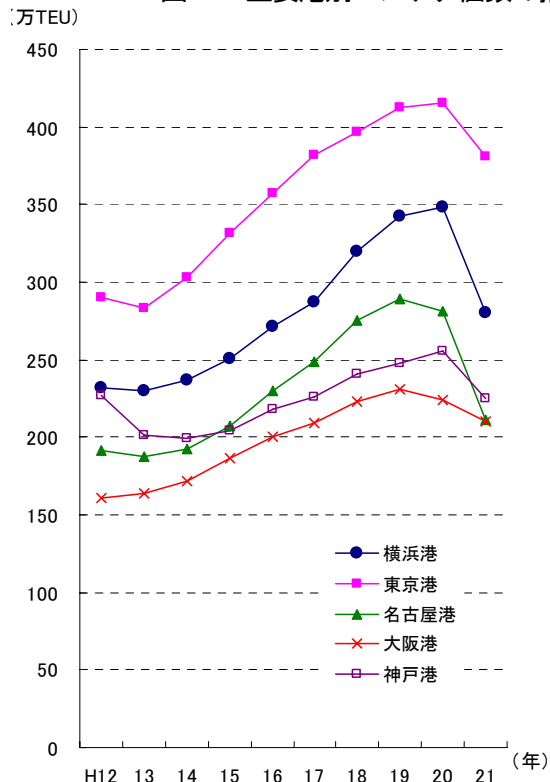


図 17 主要港別コンテナ個数の推移



### 3 施設別取扱貨物量 【P28～30】

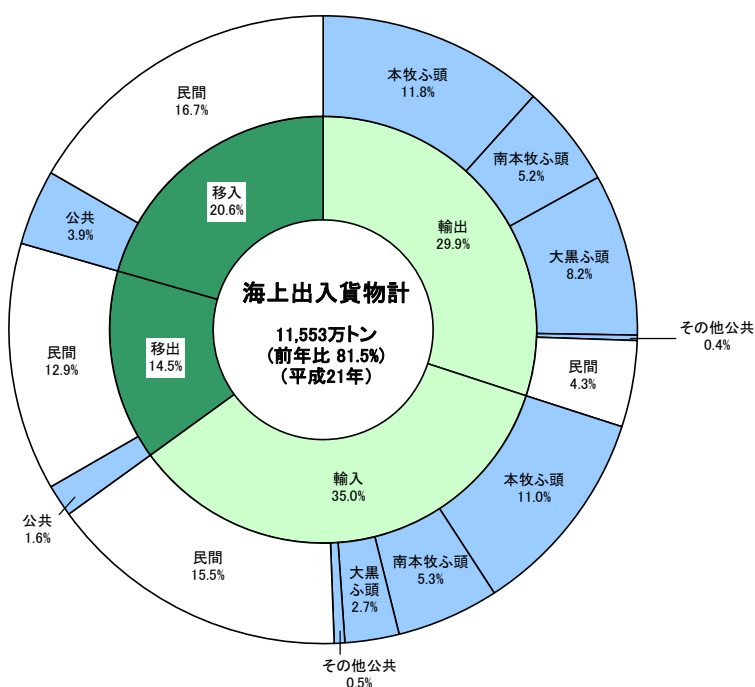
海上出入貨物量に占める公共施設（横浜港埠頭公社を含む。以下同じ。）の取扱貨物量は、5,850 万トン（21.6%減、構成比 50.6%）で、民間施設は 5,703 万トン（15.1%減、構成比 49.4%）となっています。

これを、外貿・内貿別に比較すると、外貿貨物の公共施設での取扱量は、5,218 万トン（構成比 69.5%）で全体の約 7 割を占めています。

一方、内貿貨物の民間施設での取扱量は、3,416 万トン（構成比 84.4%）で全体の 8 割を超えています。

また、外貿コンテナ貨物の公共施設での取扱量は 4,181 万トンとなっており、外貿コンテナ貨物のほぼ 100%が公共施設で取り扱われています。

図 18 施設別取扱貨物



※公共（本牧、南本牧、大黒、その他）は、横浜港埠頭公社管理分を含む。